Janis 楽れっとL IIu 便器・タンク 別梱包

施工説明書

FP246　0908

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書をお渡しください。 お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください!

便器を安全に取付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
便器の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取付けてください。

用語の説明

警告…「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ショート・感電の恐れがあります。
（100V電源使用の場合）

給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行なってください。
（漏水や火災、感電のおそれがあります。）

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。
（100V電源使用の場合）

⚠注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。
（100V電源使用の場合）

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。
（100V電源使用の場合）

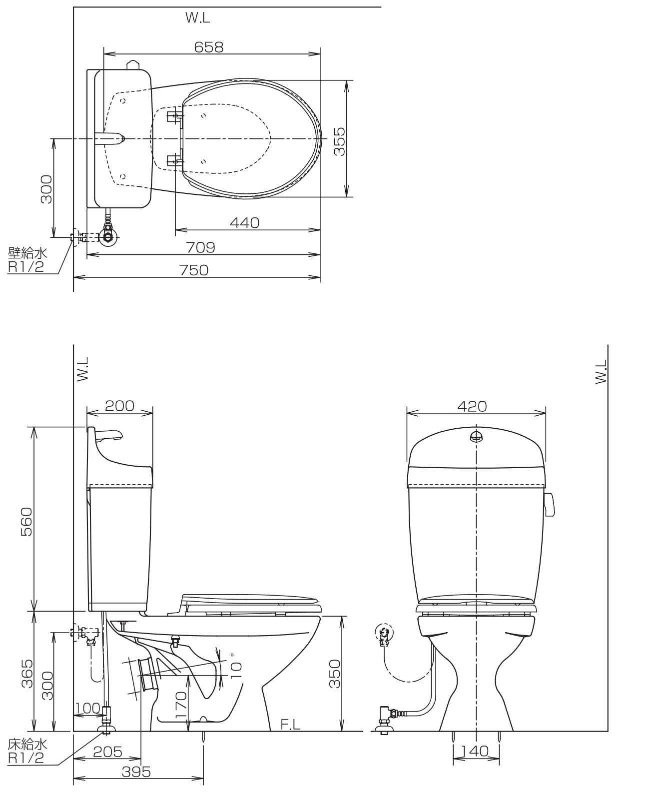
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
（100V電源使用の場合）

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

床上排水

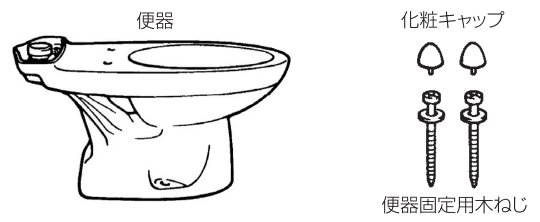
標準施工寸法図



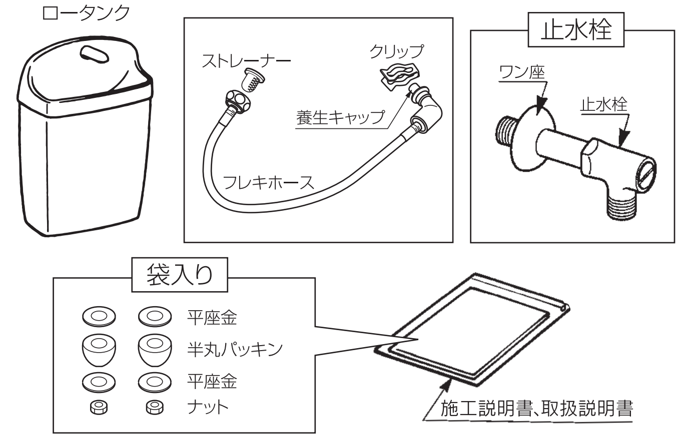
※排水管接続用パッキン（NC73G）は別途手配です。

部品の確認（梱包内容を確認してください）

便器セットに同梱

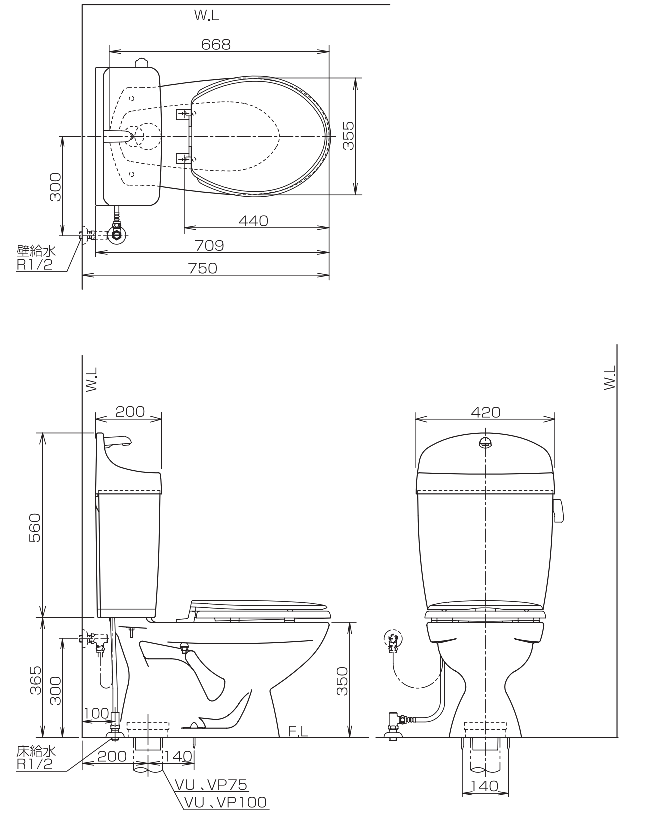


タンクセットに同梱



床下排水

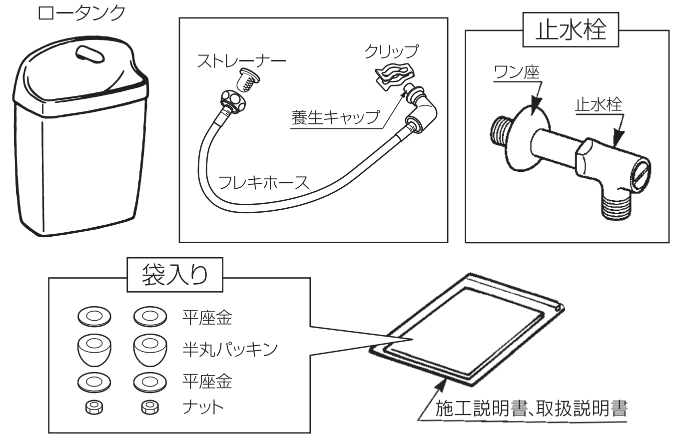
標準施工寸法図



部品の確認（梱包内容を確認してください）

便器セットに同梱

タンクセットに同梱



施 工 方 法

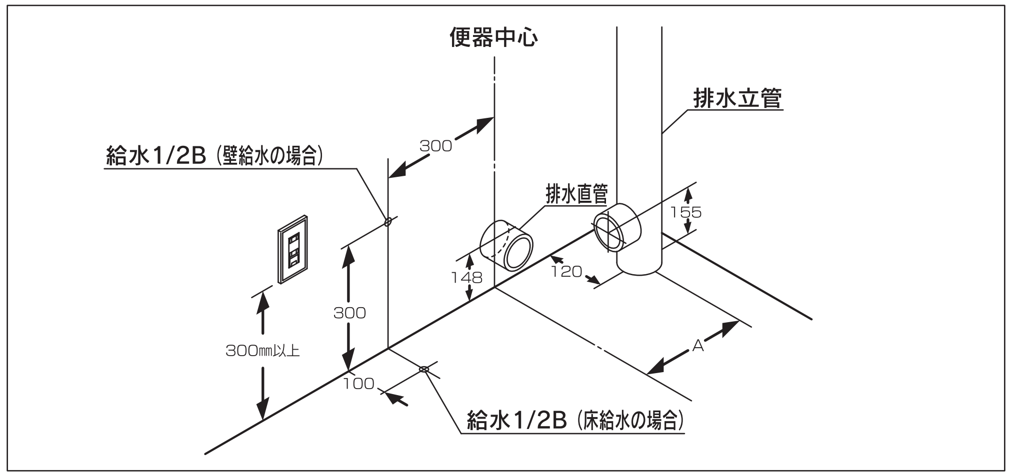
暖房便座や温水洗浄便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けてください。

1 給排水の位置決めと取出し

下図にしたがって、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注　意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニル袋等でカバーをしてください。



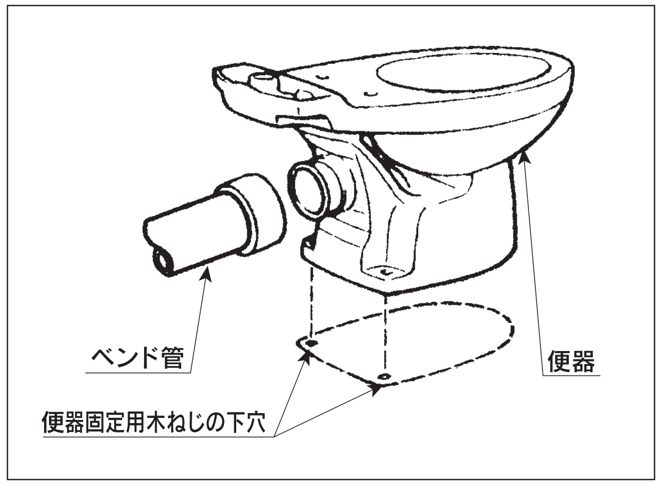
※A寸法は排水立管の種類によって異なります。

2 便器の仮据

・便器とベンド管を仮据えして便器固定用木ねじの位置を決め、
下穴を床にあけます。
※このとき接続用パッキンは取付けないでください。
・下穴をあけたら、便器とベンド管をいったんはずしてください。

品名	品番	下穴ドリル径	下穴深さ
便器固定用木ねじ	NT711BS	φ4.5	40

※AYボルトご使用の場合は別途ご相談ください。

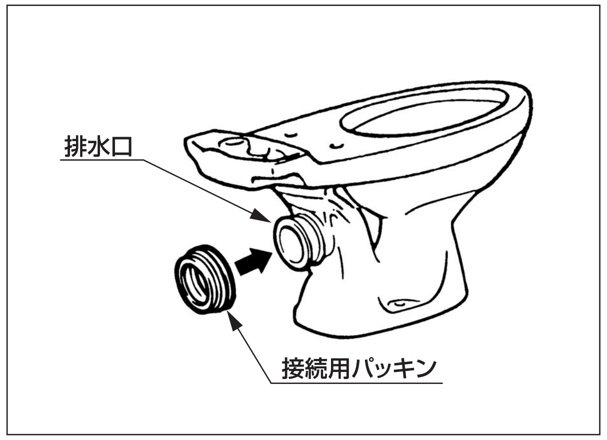


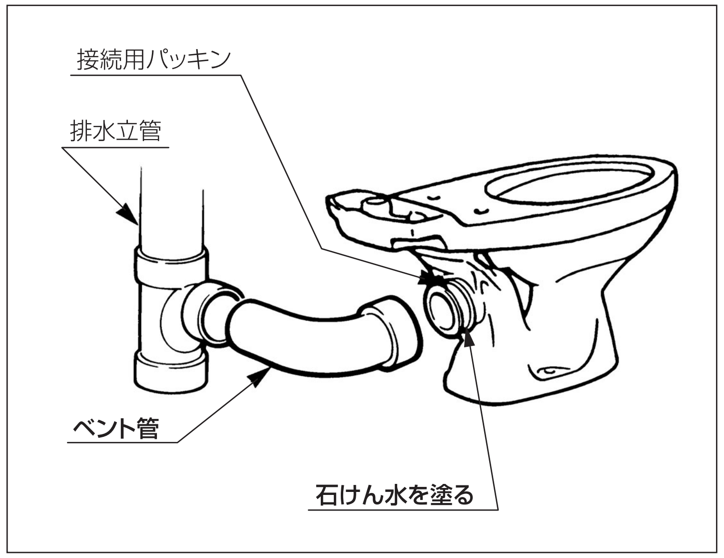
3 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

・便器の排水口に接続用パッキンを取り付けます。
・ベンド管を排水立管と便器に接続します。
※接続用パッキンの表面とベンド管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。

注　意

接続用パッキン、ベンド管は別途手配です。





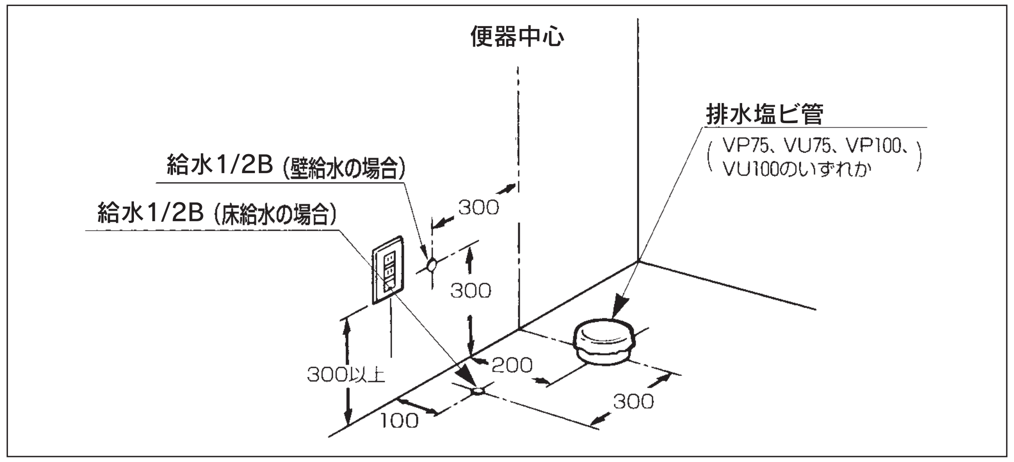
暖房便座や温水洗浄便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けてください。

1 給排水の位置決めと取出し

下図にしたがって、給水管、排水塩ビ管を取出します。

注　意

便器を取付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ、排水塩ビ管にはビニル袋等でカバーをしてください。

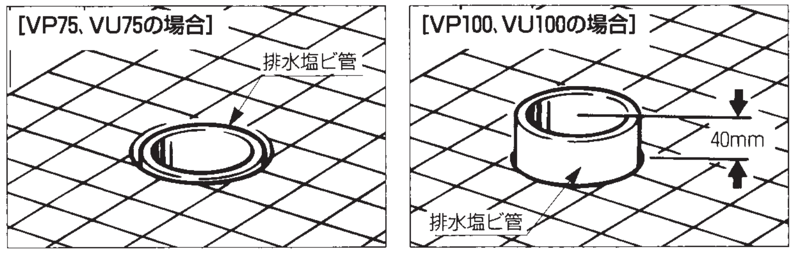


2 排水塩ビ管の切断

・壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を切断します。
VP75、VU75の場合：床仕上面
VP100、VU100の場合：床仕上面より高さ40mm

注　意

切断面は床と平行になるように切断してください。
※切断位置が正確でないと漏水・臭気発生の原因になります。



3 排水ソケットの取付け

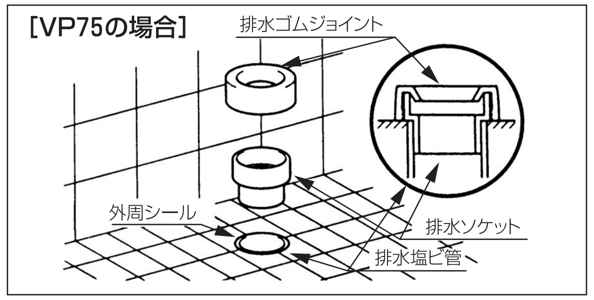
〔VP75の場合〕
(1) 排水ソケットと排水塩ビ管に塩ビ接着剤を塗って接着します。
※床面までしっかり差し込んでください。
(2) 排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水ソケットに密着させ取付けます。

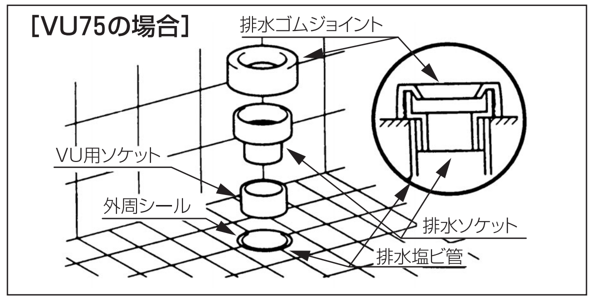
〔VP75の場合〕
(1) 排水ソケットとVU用ソケットに塩ビ接着剤を塗って接着します。
(2) 排水塩ビ管と、排水ソケットに塩ビ接着剤を塗って接着します。
※床面までしっかり差し込んでください。
(3) 排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水ソケットに密着させ取付けます。

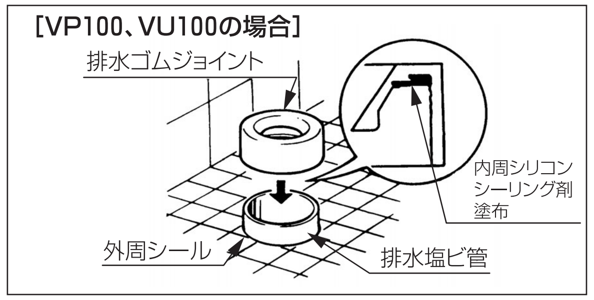
〔VP100、VU100の場合〕
(1) 排水ゴムジョイントの内周にシリコンシーリング剤を塗布してください。
(2) 排水ゴムジョイントをしっかり押えつけ排水塩ビ管に密着させ取付けます。

注　意

●接着部は、きれいにして作業を行ってください。
●接着は塩ビ管用接着剤をご使用ください。
●接着は確実に行ってください。接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。
●排水塩ビ管との嵌合がゆるい場合はシリコンシーリング剤を使用してシール接着してください。



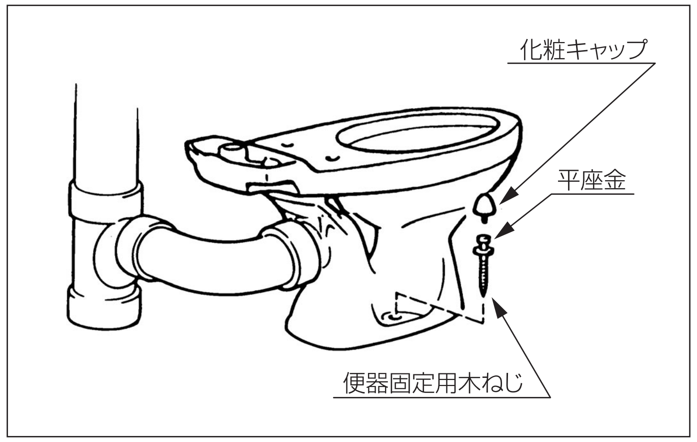




床上排水

4 接続用パッキンの取付け・ベンド管の接続

・便器を便器固定用木ねじで床に固定し、化粧キャップを取り付けます。



床下排水

4 便器の取付け

(1) 便器の排水口を排水ソケットに差し込んで便器を仮据えし、便器固定用木ねじの位置を決めます。
(2) 便器をいったん取り外して便器固定用木ねじの下穴を床にあけます。
(3) 再度、便器の排水口を排水ソケットに差し込み、便器を便器固定用木ねじで床に固定し、化粧キャップを取り付けます。

品名	品番	下穴ドリル径	下穴深さ
便器固定用木ねじ	NT711BS	ϕ4.5	40

※AYボルトご使用の場合は別途ご相談ください。

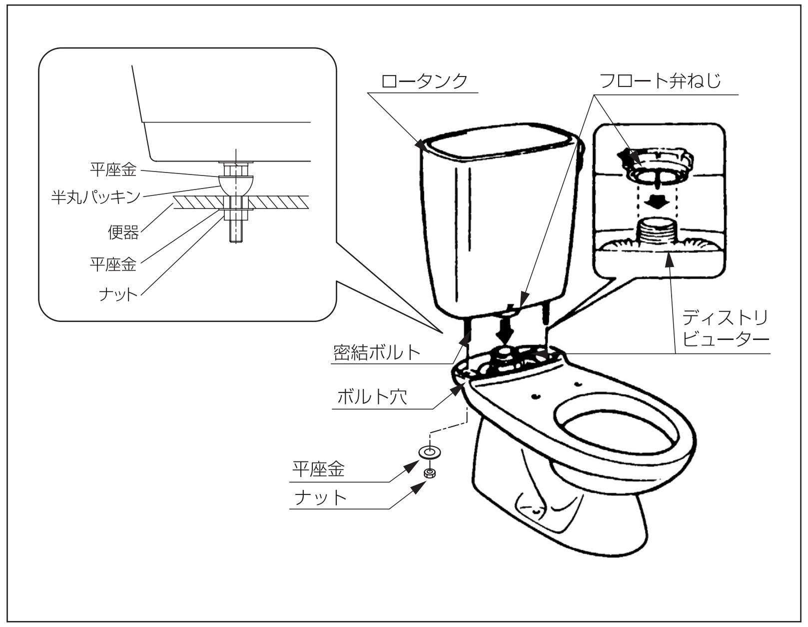
床上排水と床下排水の共通

5 ロータンクの取付け

(1) ロータンク下面にある密結ボルトと便器のボルト穴を合わせてロータンクを設置します。このときフロート弁ねじの内径部にディストリビューターの先端が入り込むようにロータンクをおろします。
(2) ワッシャー・ナットでロータンクを固定します。

注　意

●ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじ内径部に確実にはめ込んでください。
※漏水の原因になります。
●ナットの締付けは片利きのないように左右交互に少しずつ行ってください。
※タンクが割れる恐れがあります。

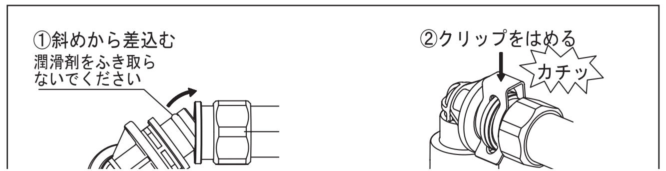


6 フレキホースと給水管の接続　（図1、図2、図3参照）

(1) **タンク内側底面の取出し口の上方からフレキホース（ナット側）を通します。**
(2) **ワンタッチ接続側の養生キャップを外してから、ボールタップ側に差し込みます。**
　●差込時にOリングを傷めないようにしてください。漏水の原因となります。
　●ストレーナー、クリップは、紛失しない様にしてください。
(3) **付属のクリップで、フレキホースとボールタップを固定します。**
　●ワンタッチ接続の施工確認のため、必ず取付けてください。
(4) **給水管取出し口に止水栓を取付けます。**
　●ネジ部にはシールテープ等のシール材を巻き付けてください。
(5) **タンク底面から取出したフレキホースを止水栓に取付けます。**
　●ストレーナーを忘れない様にしてください。異物が入りますと、作動不良または故障の原因となります。
　●ナットを締め過ぎるとパッキンを破損させたり、短期間で劣化を招く恐れがありますので十分注意してください。

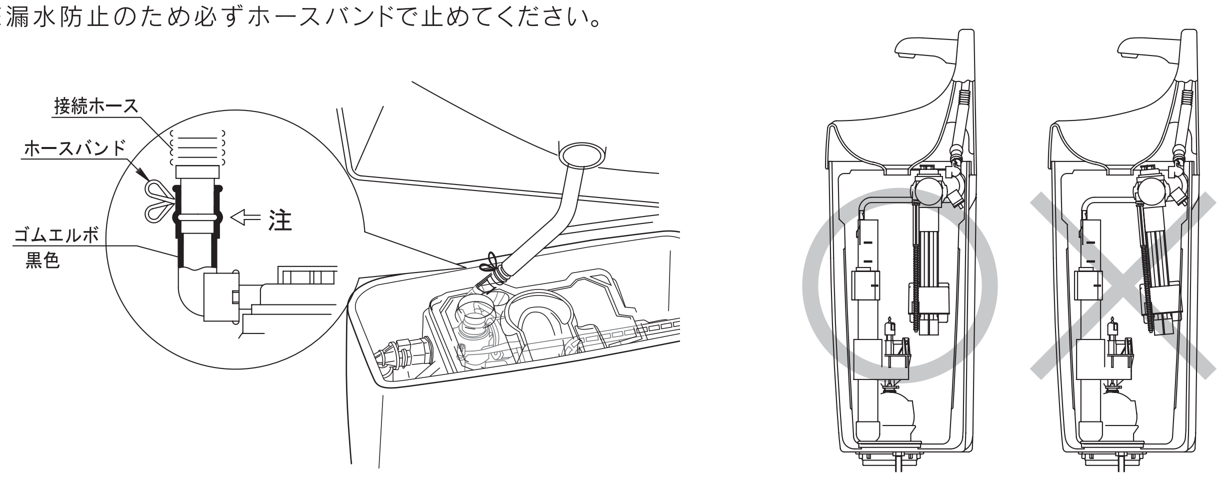
図1

図2



8 タンク蓋の取付け

ボールタップと手洗接続ホースを接続します。
(1) 黒ゴムエルボの内溝と接続ホースの山がかみ合うまで差し込む 下図注参照
(2) 黒ゴムエルボの差し込み部分をホースバンドで止める。
※漏水防止のため必ずホースバンドで止めてください。



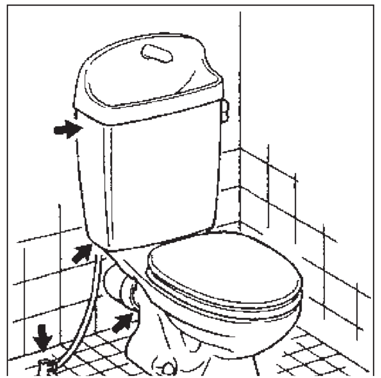
ボールタップが傾いた場合は垂直に直してください。

9 便座の取付け

便座の施工説明書をご参照ください。

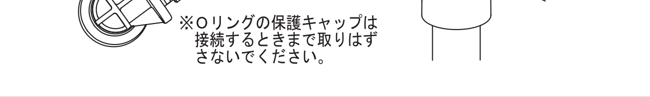
10 水漏れ点検

(1)洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水がないことを確認します。同時にフロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。
(2)便器鉢内に長さ760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個を入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認します

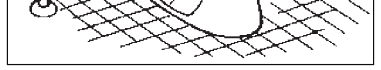


注　意

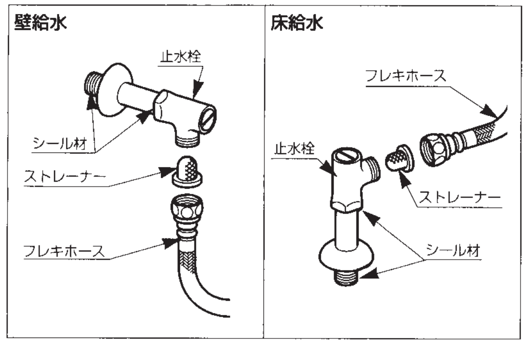
排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと



確認が困難な場合があります。



（普通便座・暖房便座仕様の場合）



（温水洗浄便座仕様の場合）

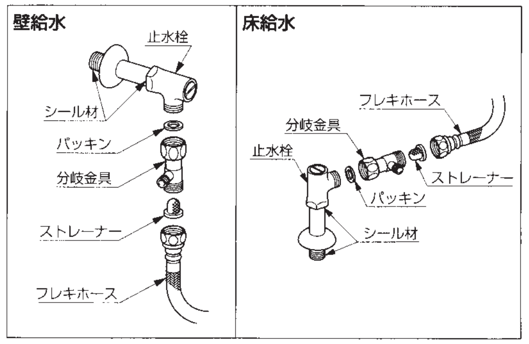
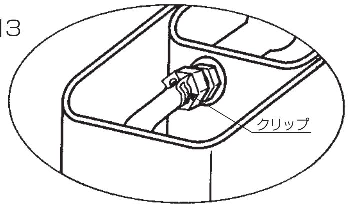


図3



7 調整

【流水量の調整】

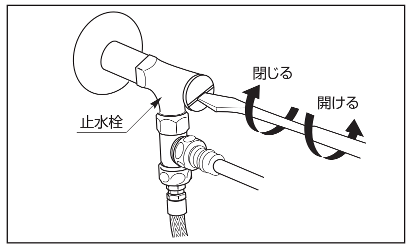
●万一ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。

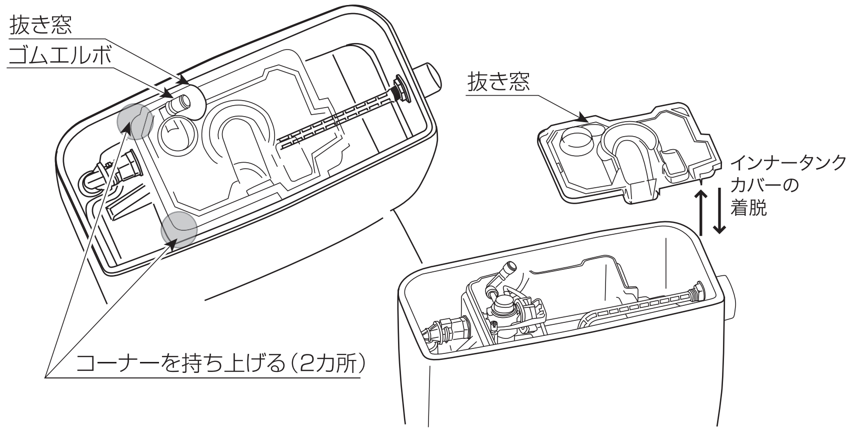
(1) 止水栓を閉じます。

(2) インナータンクカバーのコーナーを持ち上げ外します。
※インナータンクカバーは、コーナーを持ち上げ気味に外します。このとき、カバーの抜き窓を利用してゴムエルボを通しながら着脱してください。
※ゴムエルボは、外さないでください。
※手洗付の場合、ゴムエルボをタンク内に入れて水が飛ばないようにしておいてください。

(3) ボールタップの浮玉を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。
この状態から

(4) 水面がオーバーフロー管上端より10mm以上にならない程度に止水栓の開きを調整します。



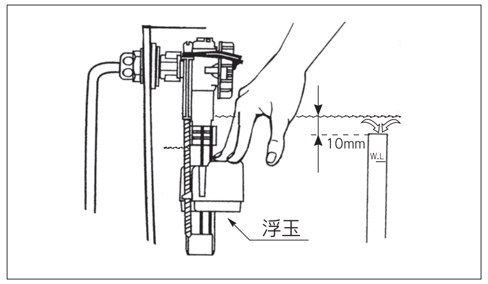


【水位の調整】

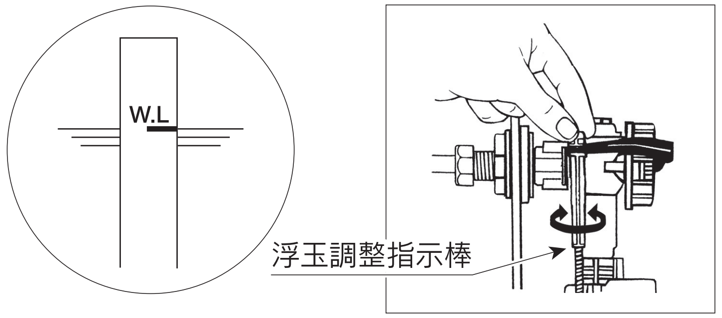
●止水栓の開きを調整したあと、ロータンクに給水した時に、水位がオーバーフロー管に表示されたW.Lとずれている場合は、水位の調整をしてください。

●水位がW.Lより上の場合、浮玉調整指示棒を左に、W.Lより下の場合、浮玉調整指示棒を右に回して調整します。

流水量の調整



水位の調整



お願い

●接続ホースは、強く引っ張らないでください。

●調整後は元の状態に戻してください。

ワンポイント

■洗浄ハンドルの取外し方法

〈洗浄ハンドルのタンクからの取外し〉

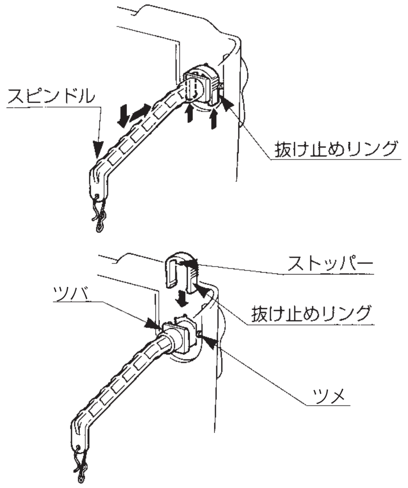
(1)タンク内側の抜け止めリングを下から押して外します。

(2)スピンドルの先端を少し下げて押出します。

〈洗浄ハンドルのタンクへの取付け〉

(1)タンクの側面の穴に合わせて洗浄ハンドルを差込みます。
※タンク内側のつめがしっかりとはまっていることを確認してください。

(2)抜け止めリングを、つばとタンク内壁の間に差込みます。
※ストッパーが洗浄ハンドルに当るまで差込んでください。



■水の出方が悪い場合

●ストレーナーを掃除してください（ 6 参照）

●タンクへの給水時間が長すぎる場合水圧が低いことが予想されます。
以下の要領で、水量絞りブッシュを取外してください。

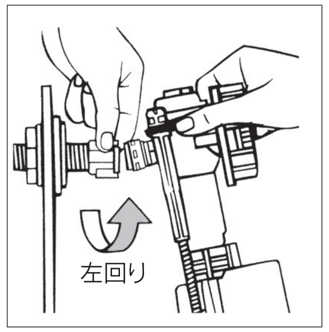
(1)止水栓を閉めます。

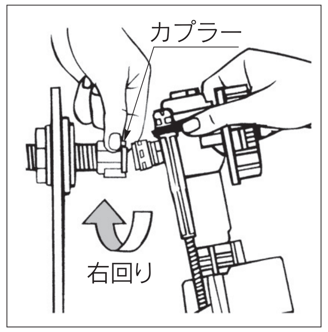
(2)カプラーをボールタップ本体に対し、左回りに1/8回転して取付け脚部から取外します。

(3)ボールタップ本体の中にある水量絞りブッシュを取出します。

(4)再びボールタップ本体を取付け脚部にあて、カプラーを右回りにカチッと音がするまで回転させ取付けます。
※作業終了後、ボールタップがまっすぐ取付いていることを確認してください。

(5)止水栓を開きます。





お願い

●カプラーを回す時にはボールタップ本体を押さえながら行ってください。

●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。

ジャニス工業株式会社

本　社　〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地　☎〈0569〉35−3151